

ソフトウェアテストといえば

**SHIFT**

# 2016年8月期 第3四半期決算説明会資料

株式会社SHIFT(証券コード:3697)

2016年 7月7日

# AGENDA

---

1. エグゼクティブサマリー
2. 決算概要
3. 成長戦略の進捗
4. 今期計画および足元

# 1. エグゼクティブサマリー

# 1. エグゼクティブサマリー

FY2016 事業方針		中期成長戦略「SHIFT' 100」元年として、売上高、売上総利益の成長を維持しながら、海外展開、サービス領域拡大のための投資活動を推進
FY 2016 3Q	決算概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 売上高 実績: 1,506百万円 (前年同期比 77.2 %増)</li> <li>■ 売上総利益 実績: 490百万円 (前年同期比 88.7 %増)</li> <li>■ 営業利益 実績: 179百万円 (前年同期比 251.6 %増) <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 売上高・売上総利益・営業利益ともに好調、過去最高値を更新</li> <li>□ SHIFT顧客のボリュームゾーンを形成する顧客層向け売上の成長が加速</li> </ul> </li> </ul>
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 受注環境は引き続き良好、各業界特化型の専門性の高いサービスの確立が進む <ul style="list-style-type: none"> <li>□ エンタープライズ領域は、事業会社の情報システム部門や、プライムベンダーからの直受注が好調。特に金融、物流業界におけるプレゼンスの向上による引き合いの増加</li> <li>□ エンターテインメント領域は、既存顧客向け売上の更なる拡大が進み、新規顧客獲得も順調</li> </ul> </li> </ul>
	成長戦略 トピックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ グローバル進出_SHIFT ASIA <ul style="list-style-type: none"> <li>□ SHIFTの基本的な品質保証概念・ノウハウの教育完了、実案件の稼働へ向けOJTでの実践的な研修を開始</li> </ul> </li> </ul>
FY2016 通期 業績予想		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 徹底的な原価削減活動による利益改善により、通期業績予想を上方修正 <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 3Q会計期間における好調な受注状況により、売上高についても現状を鑑み見直す</li> </ul> </li> </ul>

## 2. 決算概要

## 2. 決算概要

売上、売上総利益ともに、12四半期連続での過去最高を更新  
売上総利益率が改善し、会計期間では32%台に回復

単位:百万円	会計期間			累計期間		
	FY2016 3Q	FY2015 3Q	前年同期比	FY2016 3Q	FY2015 3Q	前年同期比
売上高	<b>1,506</b>	850	+77.2%	<b>4,019</b>	2,268	+77.2%
売上総利益	<b>490</b>	260	+88.7%	<b>1,252</b>	758	+65.1%
売上総利益率	<b>32.6%</b>	30.6%	+2.0pt	<b>31.2%</b>	33.4%	△2.3pt
販管費	<b>311</b>	208	+48.9%	<b>870</b>	539	+61.2%
営業利益	<b>179</b>	51	+251.6%	<b>381</b>	218	+74.6%
営業利益率	<b>11.9%</b>	6.0%	+5.9pt	<b>9.5%</b>	9.6%	△0.1pt
経常利益	<b>177</b>	52	+239.4%	<b>384</b>	215	+78.6%
税前利益	<b>153</b>	52	+192.8%	<b>364</b>	215	+68.8%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	<b>91</b>	34	+161.3%	<b>221</b>	139	+58.9%

※1月よりリベロ・プロジェクトの業績、5月よりSHIFT ASIAの業績を含む。

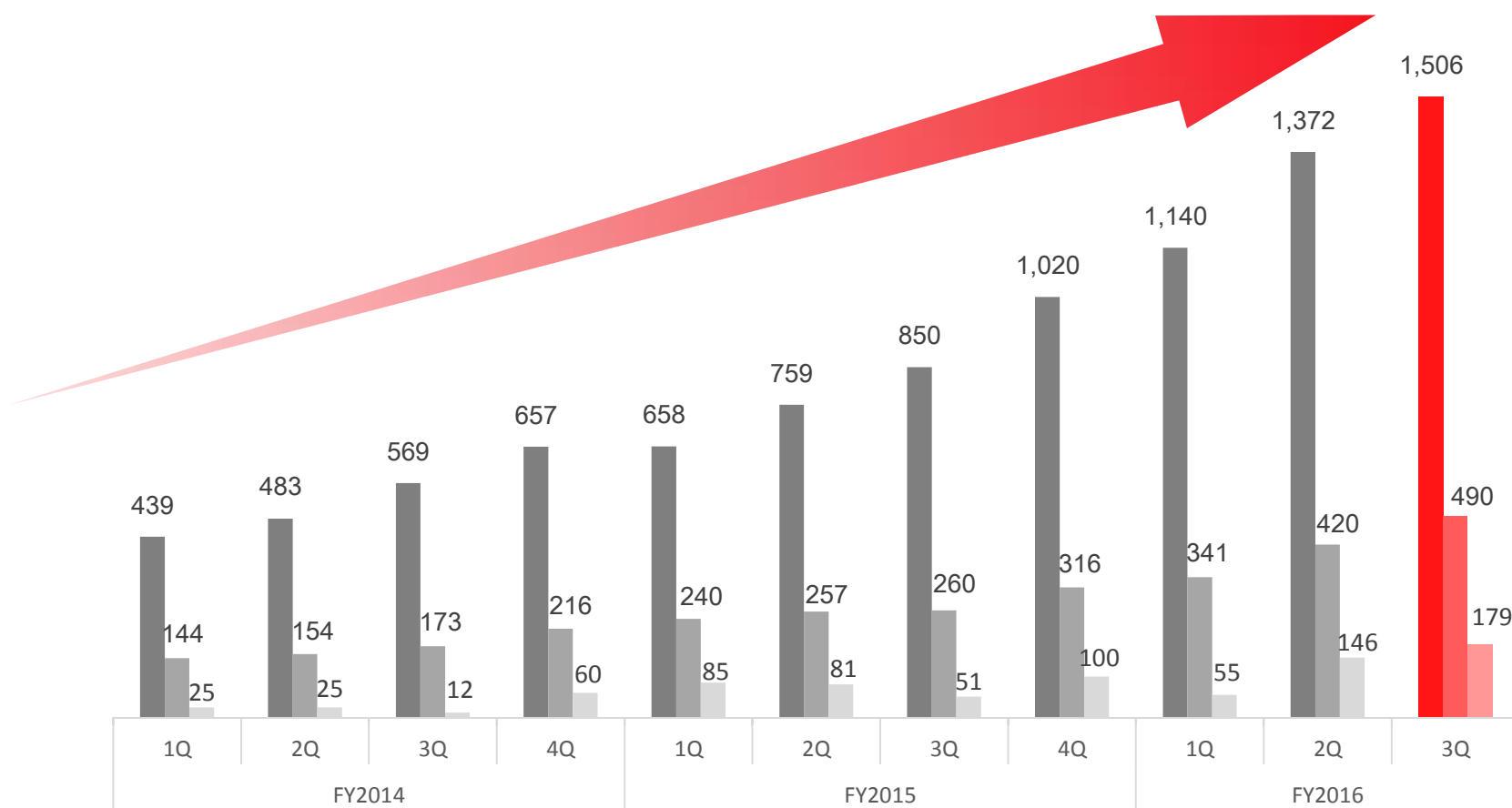
## 2. 決算概要

四半期業績推移

トップラインは、テスト事業の拡大と子会社の貢献により引き続き好調  
徹底的な原価削減活動により、営業利益も過去最高を記録

(百万円)

■ 売上高 ■ 売上総利益 ■ 営業利益



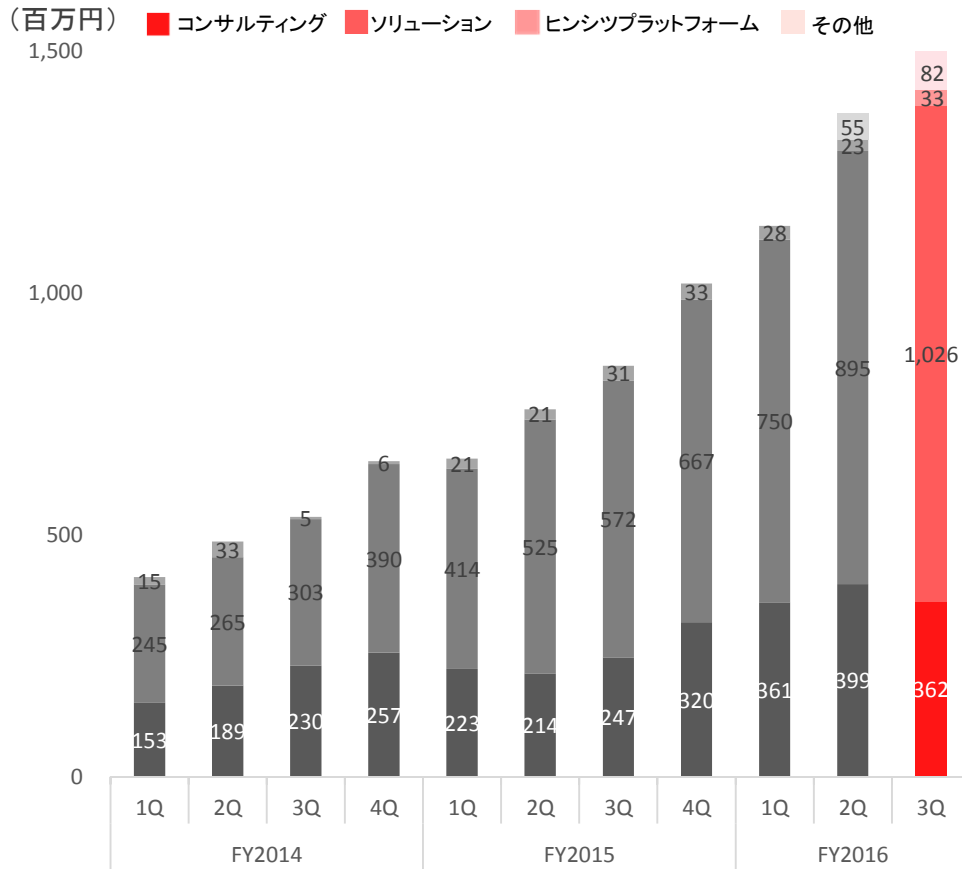
## 2. 決算概要

## セグメント別業績推移

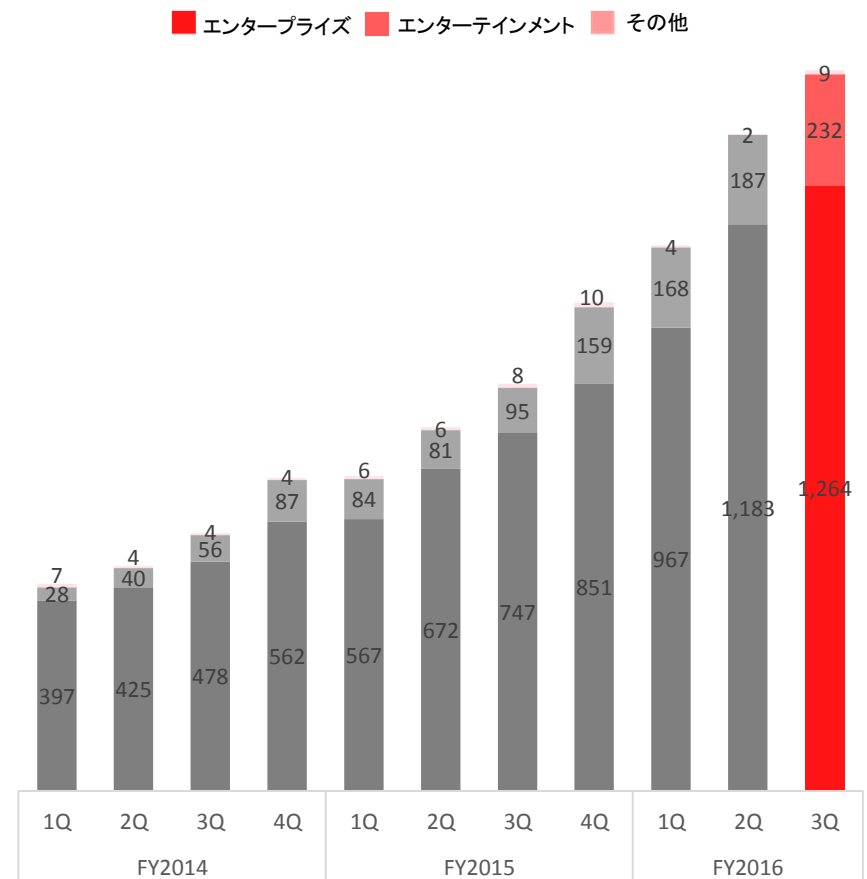
大型案件における開発フェーズの移行により、ソリューションの需要拡大とともにコンサルティングの売上が一時的に減少

※コンサルティング：プロジェクト管理、開発上流工程向けサービス  
ソリューション：開発下流工程向けサービス(テスト実行など)

### サービス別業績推移



### 対面市場別業績推移





## 2. 決算概要

販管費の推移

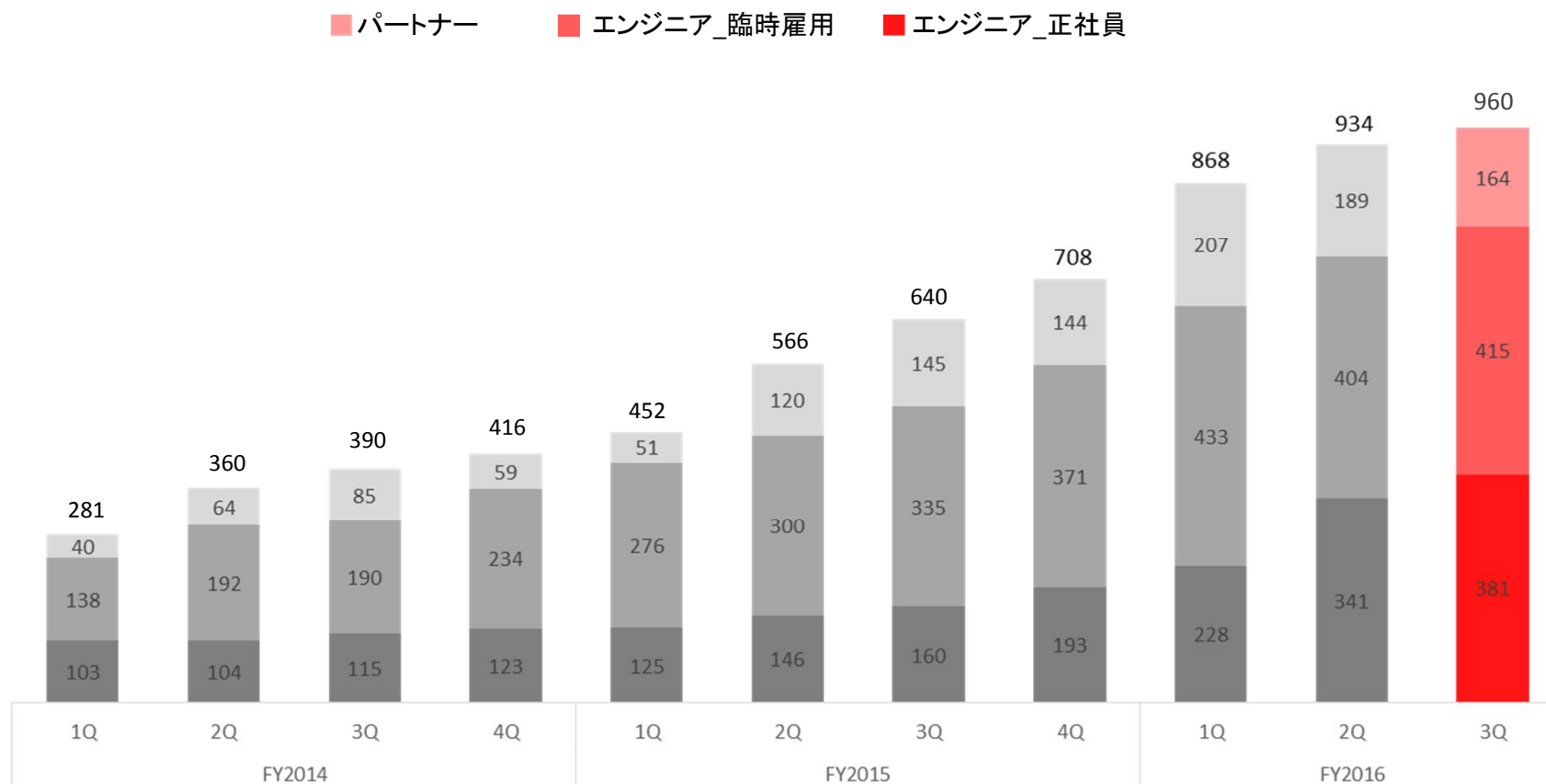
人材採用チャネルの多角化により、採用効率向上

上段:費用(百万円) 下段:対売上比(%)	会計期間			累計期間			備考
	FY2016 3Q	FY2015 3Q	前年同期比	FY2016 3Q	FY2015 3Q	前年同期比	
人件費	<b>175</b> 11.7%	114 13.5%	+53.2% △1.8pt	<b>455</b> 11.3%	304 13.4%	+49.6% △2.1pt	
採用費	<b>48</b> 3.2%	38 4.6%	+25.6% △1.3pt	<b>152</b> 3.8%	89 4.0%	+70.5% △0.1pt	会社規模の拡大により、採用人数は増加
地代家賃	<b>8</b> 0.6%	7 0.9%	+15.1% △0.3pt	<b>26</b> 0.7%	21 0.9%	+23.2% △0.3pt	
支払報酬	<b>9</b> 0.7%	12 1.5%	△20.7% △0.8pt	<b>60</b> 1.5%	28 1.3%	+110.2% +0.2pt	MA関連費用 社内制度整備関連など
その他	<b>68</b> 4.6%	35 4.2%	+91.4% +0.3pt	<b>175</b> 4.4%	95 4.2%	+83.0% +0.1pt	社外活動(展示会)への参加など
合計	<b>311</b> 20.7%	208 24.6%	+48.9% % △3.9pt	<b>870</b> 21.7%	539 23.8%	+61.2% △2.1pt	

## 2. 決算概要

### 従業員数の推移

パートナーから直接雇用人員への置き換えがさらに進む  
グループ全体で優秀な人材を積極的に直接雇用



- ※ 末日時点での雇用契約が有効な人員数。
- ※ 登録型アルバイトの人員は含まれておりません。
- ※ バックオフィスの人員は含まれておりません。

## 2. 決算概要

## 連結貸借対照表

# 今後の事業拡大に備え、手元流動性を引き続き確保

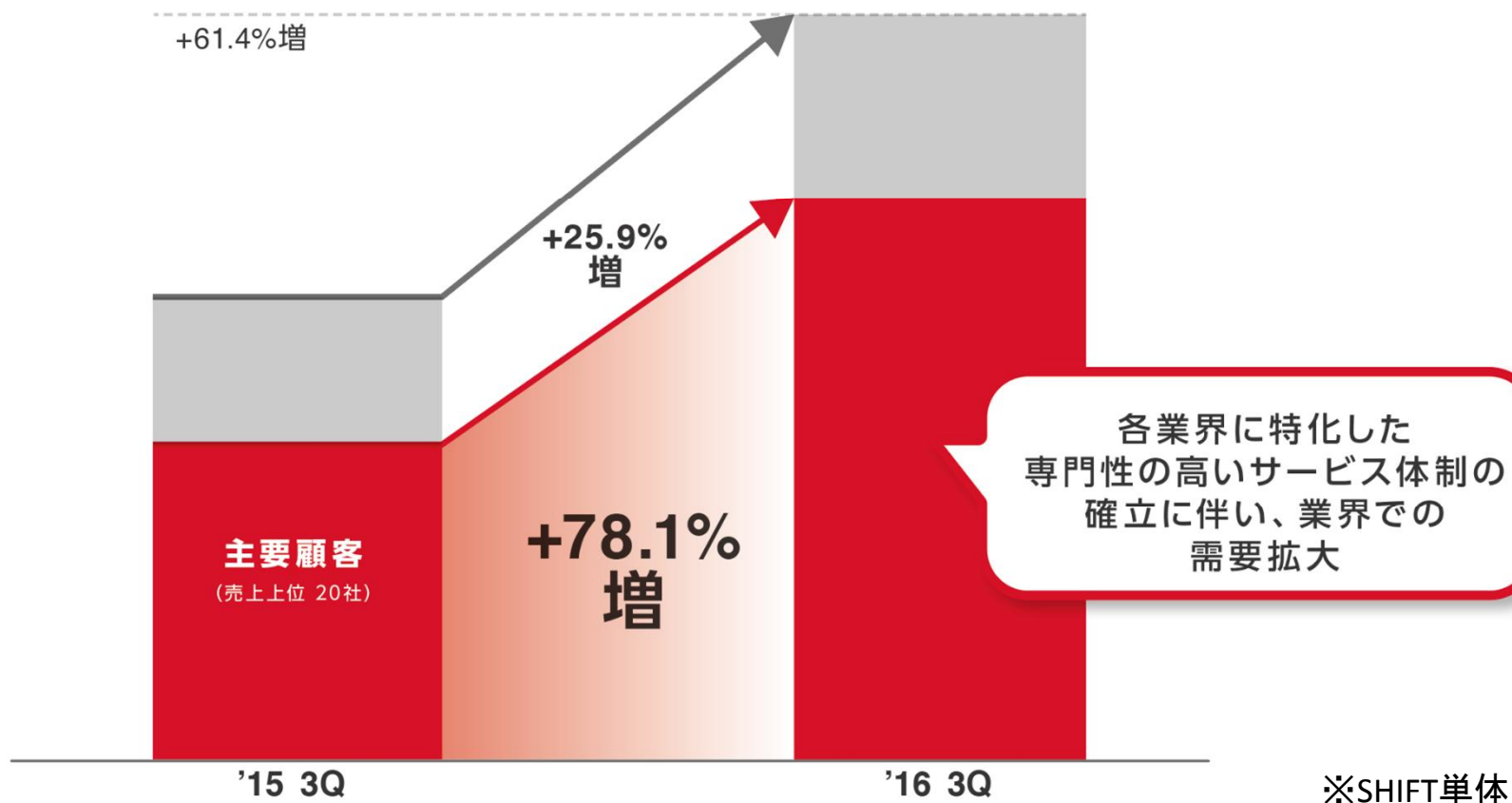
単位:百万円	FY2016 3Q	FY2015 3Q	前年同期比	FY2016 2Q	前四半期比	備考
流動資産	<b>2,540</b>	1,671	+52.0%	2,413	+5.3%	従来より回収サイトの長い大規模案件による売掛金の増加
うち現金及び預金	<b>1,535</b>	1,290	+18.9%	1,425	+7.7%	
有形固定資産	<b>193</b>	149	+29.0%	172	+11.9%	
無形固定資産	<b>315</b>	84	+275.0%	309	+1.7%	リペロ・プロジェクト子会社化によるのれんの計上
投資その他	<b>174</b>	119	+46.2%	202	△13.8%	
総資産	<b>3,223</b>	2,024	+59.2%	3,098	+4.0%	
流動負債	<b>938</b>	552	+70.0%	862	+8.8%	
固定負債	<b>572</b>	13	+4051.1%	617	△7.3%	業績拡大に伴う運転資金増加に備えた借入を実施
自己資本	<b>1,653</b>	1,434	+15.2%	1,557	+6.2%	
新株予約権	<b>2</b>	0	-	2	△14.3%	
非支配株主持分	<b>56</b>	23	+137.3%	57	△2.2%	

## 2. 決算概要

主要顧客 売上高推移

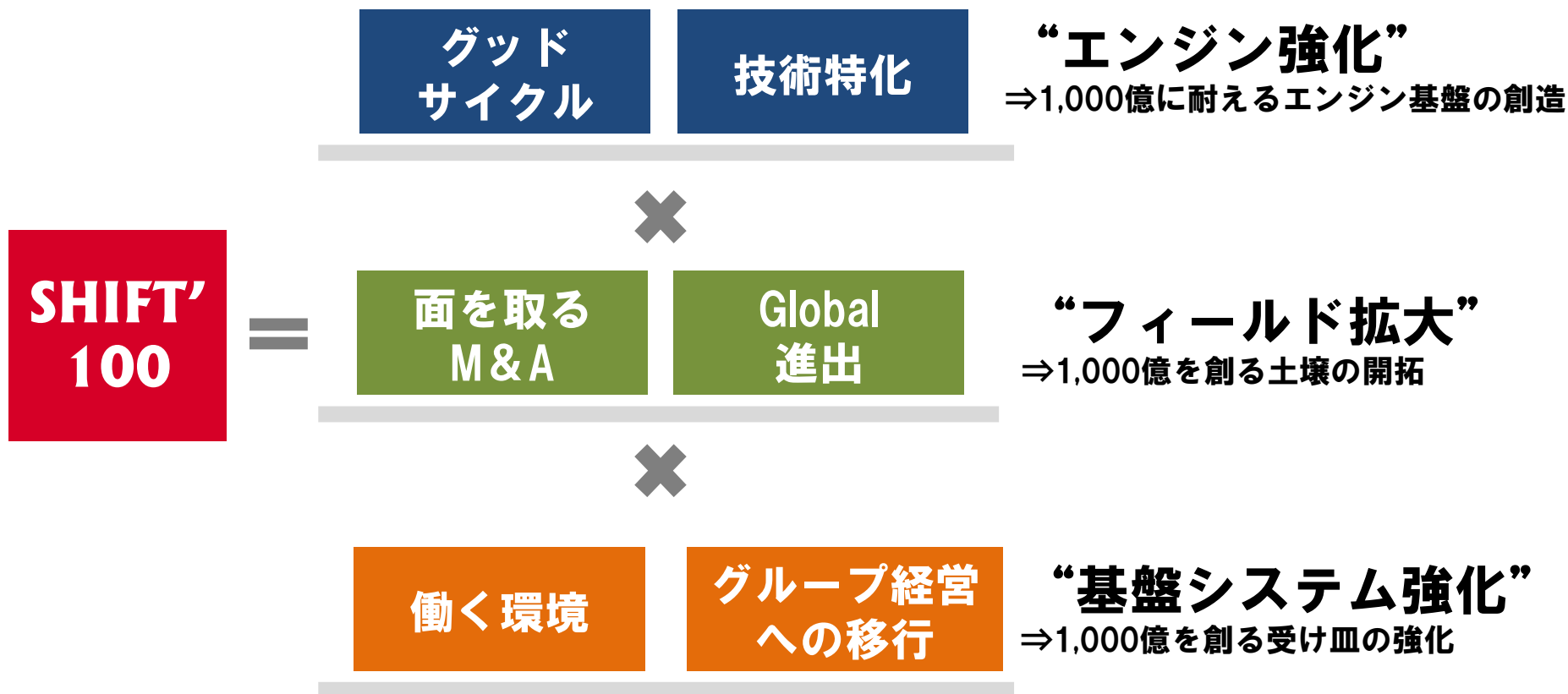
各業界のキープレイヤーでもある主要顧客における、業界専門性とサービス品質の向上により売上規模拡大を推進

【売上げ成長 前年同期比較（累計期間）】



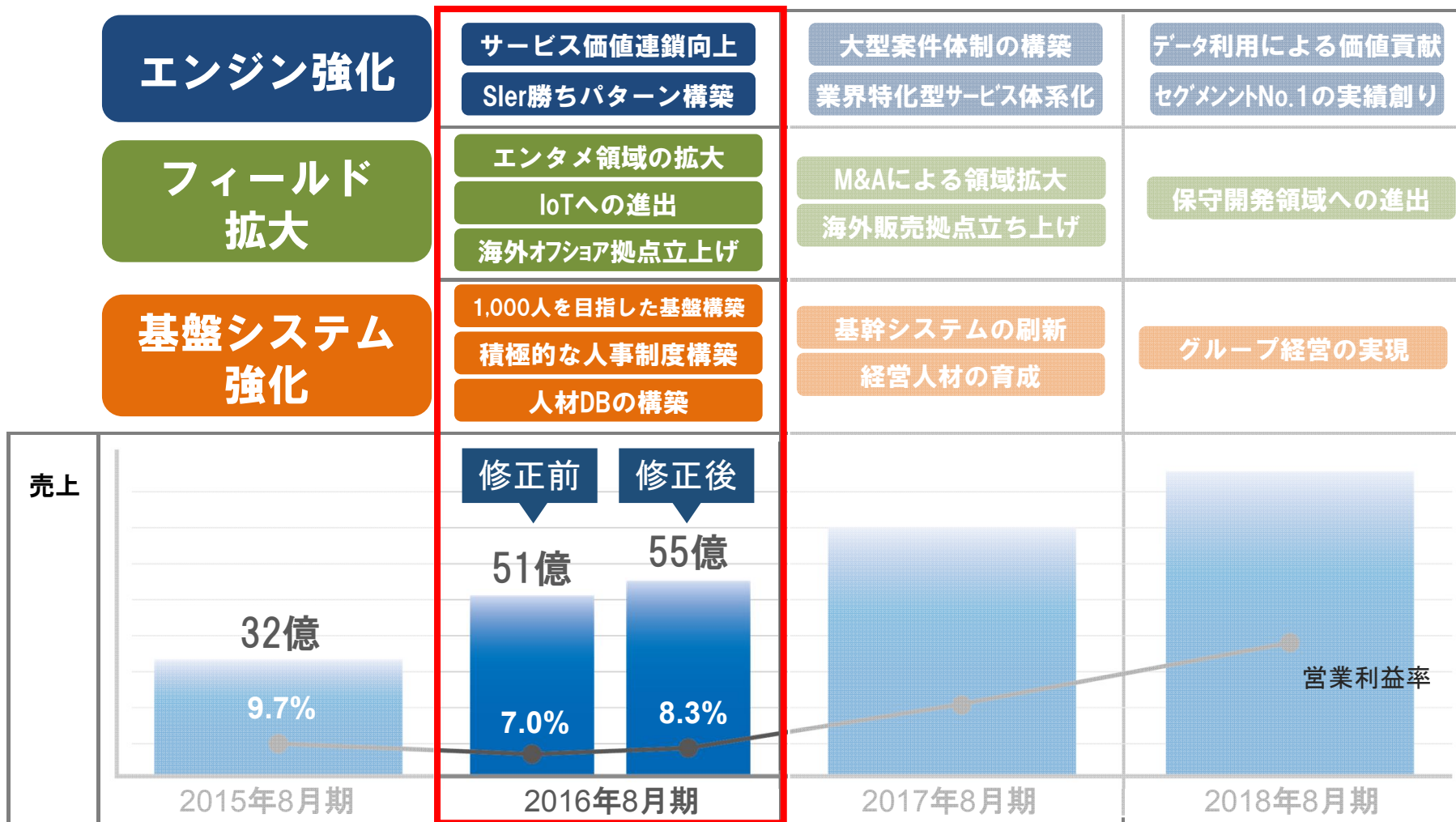
# 3. 成長戦略の進捗

# 1,000億を実現するための100億を創る



### 3. 成長戦略の進捗

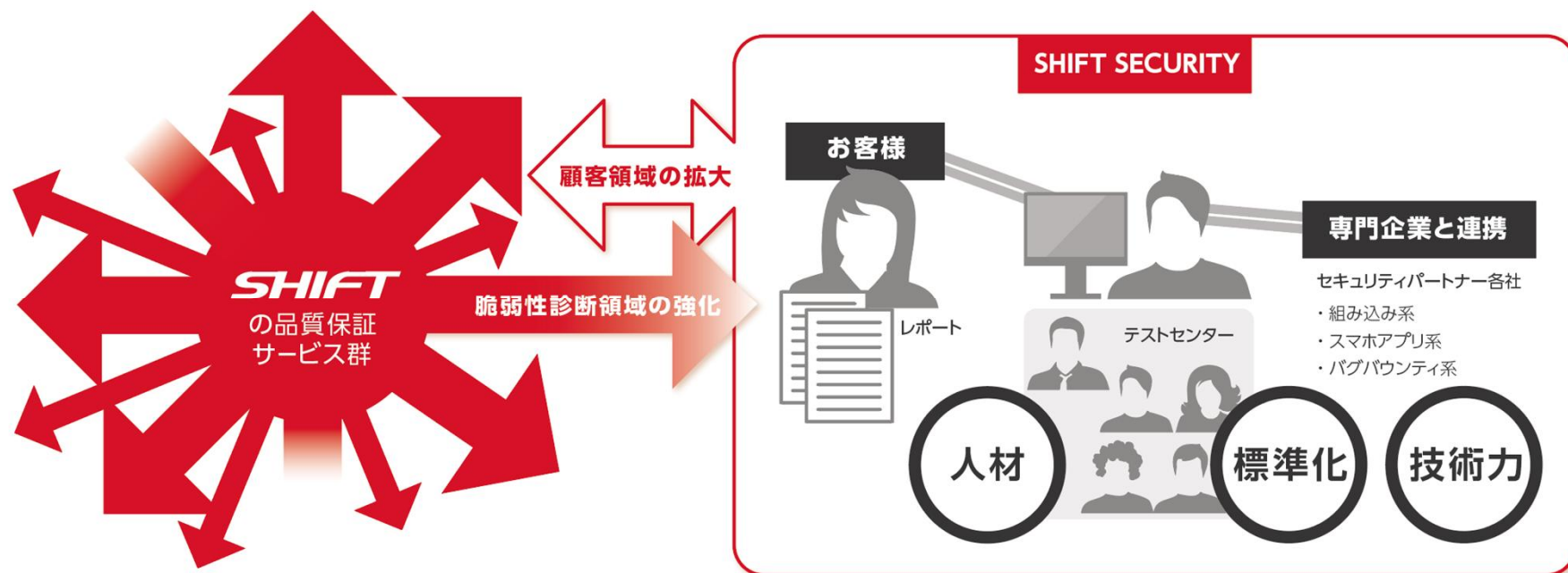
更なる事業規模の拡大を加速させるエンジンとフィールド基盤、それに耐える企業基盤の構築を進める



### 3. 成長戦略の進捗

### エンジン強化に関する取り組み

【サービス価値連鎖向上】子会社設立による脆弱性診断(セキュリティテスト)領域の強化、既存サービスとのワンストップサービス体制構築



一件当たり平均想定賠償額は1億円、  
年間1388件情報漏えいが発生。  
75%が脆弱性による不正アクセスが原因。

\*JNSA「2013年情報セキュリティインシデントに関する調査報告書～個人情報漏えい編～」一件あたりの平均想定損害賠償額



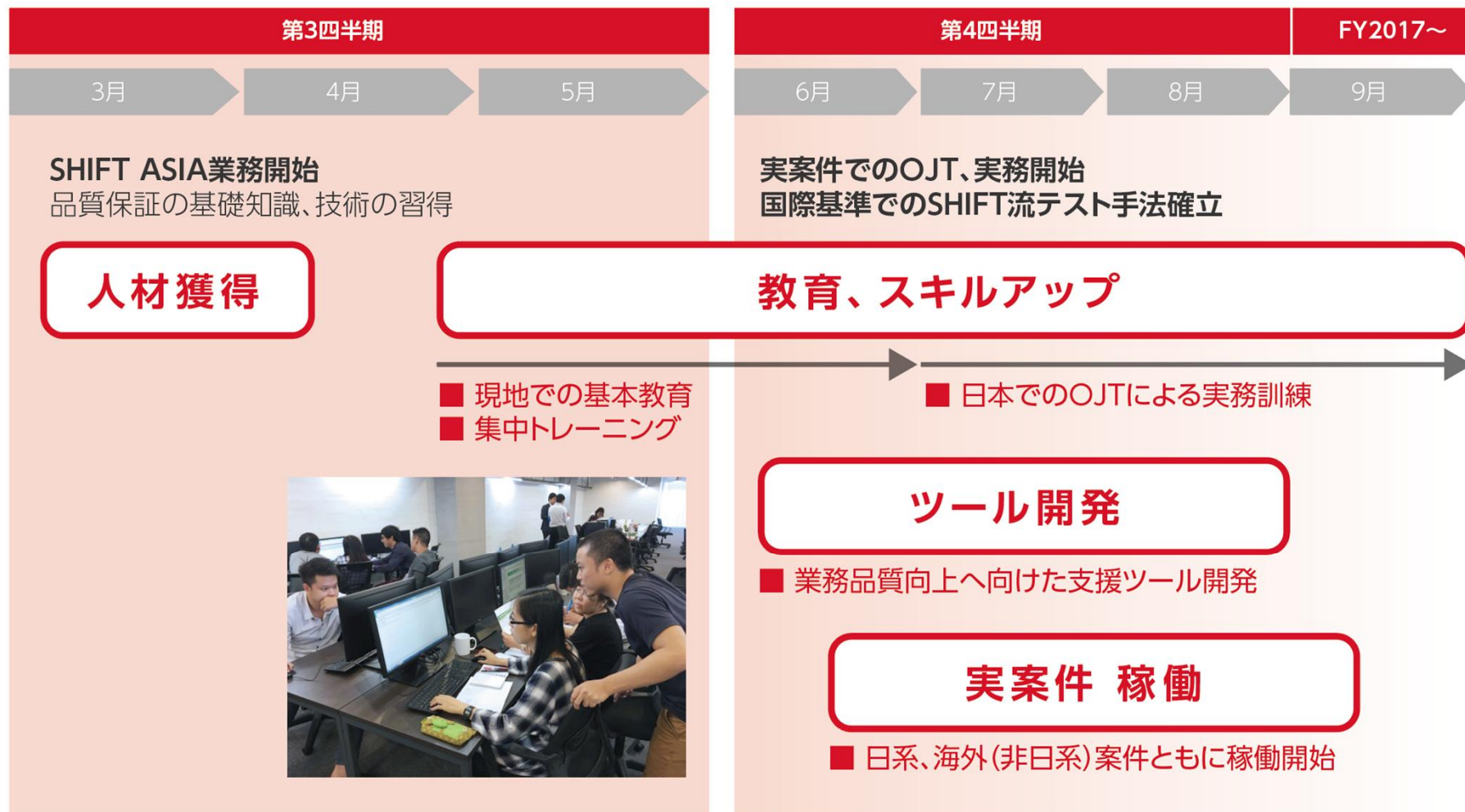
脆弱性による不正アクセス→75%\*



### 3. 成長戦略の進捗

フィールド拡大に関する取り組み

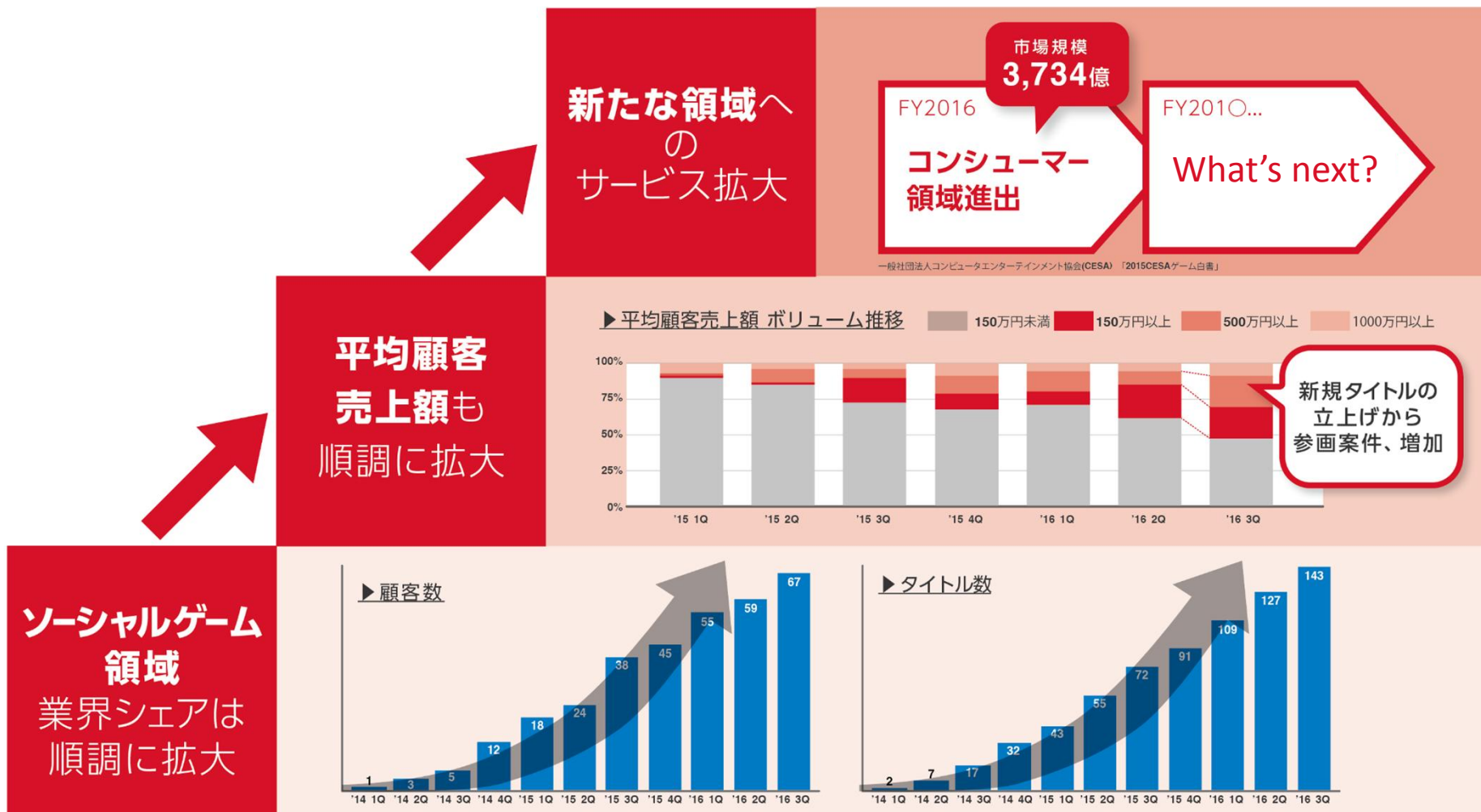
【SHIFT ASIA】SHIFT式品質保証における概念、基本知識の育成  
国際標準となるSHIFT流テスト手法確立を推進



### 3. 成長戦略の進捗

フィールド拡大に関する取り組み

【エンタメ】ソーシャルゲーム領域で培ったノウハウを活かし、新たなエンタメ領域へ進出



# 4. 今期計画および足元

## 4. 今期計画および足元

業績予想について

### 通期連結業績予想に関して、売上高、各段階利益ともに上方修正

#### ■ 修正理由

- 好調な受注環境を受け、売上高は対前年同四半期比77.2%増収で着地し、予想を上回って推移いたしました。当第4四半期につきましても、好調な受注環境は続く見通しであり、売上高は通期で前回発表予想を上回る見通しとなりました。
- また、徹底した原価削減活動及び現場マネージャーの育成が順調に進んでいること等から売上総利益率が改善し、それに伴い各段階利益率が改善いたしました。
- 上記の理由を受けまして、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の通期連結業績予想につきまして、上方修正することといたしました。

通期 連結業績 予想	(単位:百万円)					1株当たり 当期純利益
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益		
前回発表予想(A)	5,185	362	398	178	12 円 36 銭	
今回修正予想(B)	5,542	458	519	275	19 円 04 銭	
増減額(B-A)	357	96	121	97	-	
増減率(%)	6.9	26.7	30.5	54.9	-	

#### 【参考】

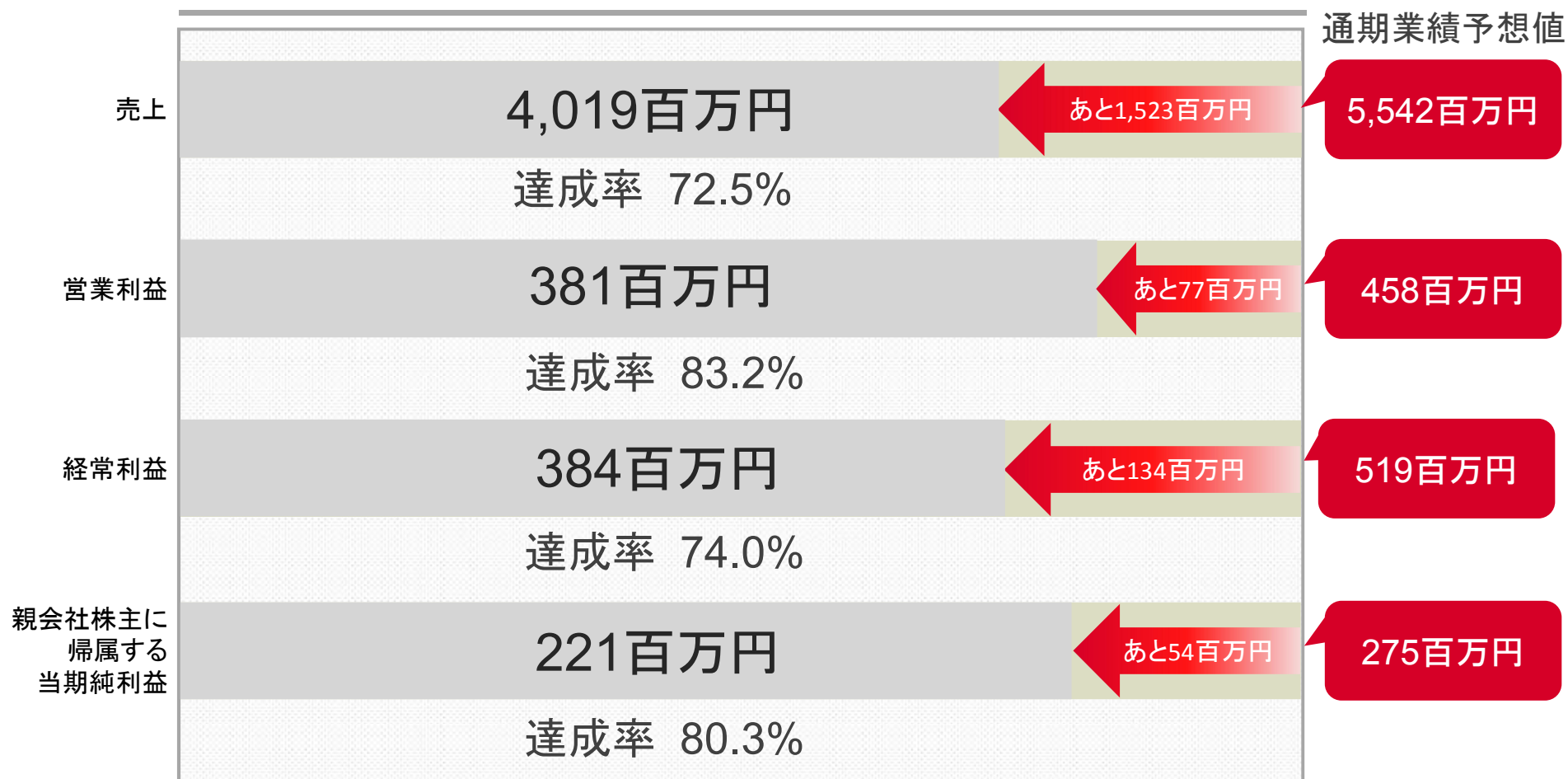
第3四半期連 結累計期間 および 当初発表 予想	(単位:百万円)					1株当たり 四半期純利益 ／当期純利益
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 ／当期純利益		
第3四半期連結累計期間 (実績)	4,019	381	384	221	15 円 41 銭	
当初発表予想 (平成27年10月8日発表)	4,687	458	495	288	20 円 00 銭	

## 4. 今期計画および足元

業績見通し

好調な受注環境におけるサービス規模拡大と子会社の貢献により、  
売上、利益ともに順調に推移し、通期業績予想値を上方修正

FY2016 通期連結業績予想



この産業が日本発、世界へ行く為に

## グローバルな分業が進む、ソフトウェアの製品開発。

“日本人”である我々が得意とする分野での価値提供による国際市場での拡大を目指す。



「すべてのソフトウェアにMade in Japanの品質を」

ITが広がる世の中に、安心・安全・安価な品質を根付かせる。

これがSHIFTの目指す未来です。

## 将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報や将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

株式会社SHIFT  
<http://www.shiftinc.jp/>

■お問い合わせ  
[ir\\_info@shiftinc.jp](mailto:ir_info@shiftinc.jp)